



校 訓

自 主 ・ 敬 愛 ・ 勤 労

学 校 教 育 目 標

「志を持ち、心豊かでたくましく生きる生徒の育成」
～一貫教育のまとめとして、【15の春】を見据え、自立した生徒の育成をめざす～

授業改善



- ・個人思考と学び合い
- ・ICT 機器の効果的活用
- ・生活ノートの活用と
自主学習ノートの充実
- ・腑に落ちる評価
- ・言語活動の充実
・作文指導

重点目標 1

確かな学力の育成

- ・生徒の自主的・主体的な学び
- ・指示を控え、自ら考える力の育成

教師力



- ・校内研修の充実
(生徒理解、集団づくり)
- ・授業研究
(生徒の「学び」を中心に)
- ・ICT 活用力の向上
- ・村ネットへの参画

めざす生徒像

- 1 共に学び合い、確かな学力をもつ生徒 (知)
- 2 ふるさとに誇りをもち、心豊かで、互いを思いやる生徒 (徳)
- 3 心身ともに健やかでたくましい生徒 (体)

重点目標 2

豊かな心の育成

- ・自己肯定感・有用感の向上
- ・表現力・対人適応力の育成
- ・居心地良く高め合う集団づくり

重点目標 3

困難に打ち勝つたくましさ

- ・ESD による郷土愛と誇り
- ・我慢して努力を続ける機会の設定
- ・自ら進路を切り開く力の育成

キャリア教育

- ・職場訪問
- ・職場体験
- ・森林体験学習

心の教育

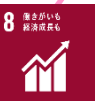
- ・道徳教育の
充実
- ・高め合う集団
- ・地域との連携、交流
- ・心の成長の場となる
学校行事と部活動
- ・SEL

特別支援教育



- ・特別支援教育の視点を取り入れた授業
- ・困難さに応じた指導の工夫
- ・教育的ニーズの把握

- ・進路学習
(職業調べ、高校調べ)
- ・中学生「だっぴ」



12年間の成長（一貫教育が目指す姿）が実感できる場としての中学校

西栗倉村の基本となる取組

コミュニティ・スクールとして
ESDを柱とした幼小中一貫教育の推進

家 庭

- ・基本的生活習慣の
確立
- ・PTA 活動
- ・家庭学習習慣化
- ・メディアコントロール



「百年の森林構想」を反映させた特色ある一貫教育

- ・幼小中それぞれの強みを学び合う機会の設定
(合同研修会、授業交流、相互授業参観)
- ・発達段階に応じた指導の検討
(学習規律、学習方法、家庭学習など)
- ・成長を実感できる場 (合同運動会)

地 域

- ・学校運営協議会
- ・支援ボランティア
- ・学校評価委員会
- ・外部評価委員会
- ・いじめ防止委員会
- ・関係機関

